



区民の皆様へ

第五地区心潤う豊かなまちづくり協議会

2015

第28号

平成27年1月1日発行

協議会だより

■発行 第五地区心潤う豊かなまちづくり協議会/会長：高見澤忠明

■編集 総務広報部会 広報委員

謹賀新年

本年もよろしくお祈りします！



新年明けましておめでとうございます。

皆さまにおかれましては、ご健勝にて新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

日頃から「第五地区心潤う豊かなまちづくり協議会」の事業に深いご理解とご支援、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、記録にないような大型台風による集中豪雨、土砂災害、大雪による被害、御嶽山の突然の噴火により多くの方が亡くられるなど、全国各地で多くの自然災害に襲われ、大変な被害を被りました。

このように、いつ突然襲われるかわからない災害に対して、第五地区としましても、災害から身を守るために多くの方に正しい知識を身につけて、いざという時に役立つ防災の知識を学んでいただくため、中御所・南石堂町・末広町では消防局の指導で防災訓練を実施しました。また、消防局を視察研修して、聞いて・見て・体験して防災に関する知識を学びました。防災には自助・共助・公助と言われますが、まず自分の身は自分で守る。そして自分たちの地域は自分たちで守ることが、減災に結びつきます。各町に災害に備えて防災関連用品を備蓄するためのお手伝いもさせていただいております。

また、少子高齢化時代を迎え、第五地区の高齢化率は、平成25年7月現在26.5%になっております。長野市全体は25.9%です。「自分たちのまちは、自分たちでつくる」理念の下に、地域の皆さまとともに高齢者の方も安心して住める「地域福祉活動計画」の策定に取り組んで、安心・安全なまちづくりを推進しております。

今年3月には新幹線の金沢延伸、4月には、善光寺御開帳も開かれ、長野駅前や第五地区も賑わいが予想されます。新駅ビルも大型ショッピングゾーンとなり、集客力効果・経済効果も望め、好機が訪れることを期待します。

本年もたくさんの課題がありますが、住民の皆さまと安心・安全なまちづくりに取り組んでまいります。どうか皆さまのご支援・ご尽力を賜り、第五地区が更に発展し、住みよいまちになりますようご協力の程お願い申し上げます。皆さまのご健勝とご多幸を心からご祈念申し上げ、新年のごあいさつとさせていただきます。

第五地区心潤う豊かなまちづくり協議会 会長 高見澤 忠明

健康福祉環境部会



男の料理教室

～こんどはワシがつくるぞ！～

毎回好評を得ているAB ABオーナーで中御所在住の笠原茂成講師の指導による「男の料理教室」が、中御所公民館と共催で10月12日（日）に地域のお父さん方23人で和やかに開催されました。

今回のメニューは生姜焼きととん汁。最初に講師から、玉ねぎ、キャベツ、ニンジン、ごぼう等、料理に合った野菜の切り方の指導を受け、各自トライしました。中には手際よく野菜を刻む方が沢山おられ、また、男の持ち物の素晴らしいブランド包丁を持参され調理される方が何人かおられました。

とん汁は刻んだ野菜を茹でこぼし、生姜焼きは玉ねぎ・ピーマンの炒め方とだし汁を入れるタイミングの指導を受け、各自味見しながら調理に挑戦しておりました。お昼近くに料理が出来上がりみんなで試食しましたが、美味しくできたとん汁に舌鼓をうち何杯もお代わりする方もおられました。笠原講師は「皆さんも失敗を恐れずに調理してください。味付けは何gと細かいことは申し上げませんので、途中で味見してご自分の味に仕上げてください。調理のコツはやりながら片付けることです」とのことでした。



裾花川河川敷清美

前日の雨降りて当日の天気心配されましたが、11月2日（日）は午前中は青空が出て、比較的暖かな天候に恵まれました。地区内の甲信マツダさんなど企業の方の応援を得て、総勢約100人で裾花川の相生橋からあやとり橋下流まで、左岸の河川敷の清美を実施しました。

昨年は6月に第1回目を実施しましたが、夏の間河川敷には雑草・雑木が勢いよく伸びてしまいました。流域を3班に分かれて午前8時から10時まで作業を行いました。ビバーなど機械で刈り取る人、鎌で刈る人、熊手で刈り取られた雑草をかき集めて袋に詰める人等々、みんなで手際よく作業し、広い河川敷も見事にきれいになりました。特に、あやとり橋下流は雑木が密集している箇所や堤防のり面にはアレチウリが勢いよく茂っている場所があり、これを刈り取るのに苦戦しておりました。

最近熊の出没が相次ぎ、けが人も多数でいると報道されています。専門家からは夏の天候不順に伴い熊が食べるどんぐり、ハチなどが不足しており、山の中に食べ物が少なく、人里までおりて餌を探すのではないかと、とも言われております。相生橋下の雑草が茂った場所にも熊の糞らしきものを発見し、県に通報しました。

今回も熊が隠れにくいほどに雑草を刈り、河川敷はきれいに清美されました。須田環境委員長は「河川敷清美事業も4年目となり、今回から第五地区住自協の独自事業となりました。恒例の事業として、住民の方々のご参加をいただいて、河川敷がきれいになり、大勢の方々が利用できるようになればと思っております」と語られました。正月のどんど焼きも、きれいに清美されたこの河川敷で行われます。



戸隠中社視察研修 ～戸隠信仰の歴史を学びました～

神代の昔から人々の祈りが今でも続く聖地、奥社、中社、宝光社、九頭龍社、火之御子社の五社にゆかりの神々を祀る戸隠。10月15日（水）に大勢のご婦人など23人で、歴史を学ぶために中社を訪れました。

まず、中社で戸隠信仰を伝承する戸隠神社旧本坊勸修院 久山館に訪れ第68代当主の久山神主から講義を受けました。

この久山館は、江戸時代には徳川家康公に手厚く保護され、戸隠神社の別当職として一山を統括しており、中社・宝光社に33ある旧宿坊で一番格上だそうです。雅な風格の寝殿造りで永い歴史ある建物に神殿が設けられた隣の座敷で、神官である当主から大和時代に天岩戸開き神話の中心的祭神あめのたしからのおのみこと天手力雄命の子孫が縁の深い戸隠の地に祀ったのが始まりで、室町時代には、修験道場として比叡山・高野山と共に戸隠三千坊と称され、その名が全国に広がったそうです。そして天台派（台密）と真言派（真空）対立で一時衰退期を迎えましたが、1592年（文禄元年）上杉景勝が豊臣秀吉の朝鮮出兵の命を受けて、戦勝祈願に訪れ、戸隠山再興のため尽力されました。江戸時代に徳川家康公が神領の寄進、寛永寺の末寺とし別当は信濃・越後両国の天台宗寺院管轄と手厚い保護を受け、明治元年明治政府の神仏分離（神社と寺院に分離させる政策）により神社となり、明治6年には県社に、昭和20年に宗教法人戸隠神社となりました。

久山館の家宝で200年前の絵巻を特別拝観させてもらい、物語の解説を受けました。次に、中社の宝物殿を見学し、神社に参拝して御身徳を願い、紅葉も見ごろになった神聖な戸隠での実り多い勉強会となりました。

戸隠は神社、自然に恵まれた高原とそばの里として全国的に有名ですが、JR東日本の女優吉永小百合を起用したPRが爆発的な効果で、若者もパワースポットの聖地として大勢訪れ、大いに恩恵を受けているそうです。



災害図上訓練 (DIG)

～私たちの地域を知っていかに避難するか～

最近は予期しない災害が突然襲ってきます。今回は10月26日(日)に南石堂町公民館に地域住人の方など約50人が参加して、長野市消防局石坂係長ほか3人の指導で、グループに分かれてお互いに意見を出し合い、町内の安全な場所、危険な場所、避難場所へのルートなど油性ペンで色分けして、地図に記入し、災害で避難する際の情報を共有しました。

まず、公民館玄関前の119番通報訓練で、代表が携帯電話で司令室に火災通報をし、司令官の問いに答える訓練をしました。消防局から「携帯電話は移動ができるので危険な場所を避けて通話できますが、固定電話ではまず住所、氏名を告げて自分の命を第一優先し安全な場所に避難してください」。消防局では通報の電話で所在地が把握でき、出動態勢を取って直ちに現場に向かうそうです。消火訓練では消火器取扱いの説明を受け、交代で消火訓練を体験しました。



災害図上訓練(DIG)は、地図を用いて地域で大きな災害の発生を想定し、危険が予測される地帯または事態を地図の上書き込み、参加者の間で共有します。小林秀雄安全防災副部会長は「もう一度まちにどんな建物があって安全な場所、危険な場所はどこか。逃げる場所はどこか。地図を見て考えていただきたい。過去には長野市も大きな災害に何度も襲われております」と語られ、消防局石坂係長は「防災・減災は行政機関が全部出来るわけではありません。自分たちの地域は自分たちで守る精神で、日頃から地域と地元消防団の連携を密にすることが減災に結びつきます。長野市には3,004人の分団員がおり、局所的な災害は他分団から応援が可能です」と総評がありました。皆さまの地域でも災害図上訓練を実施して地域の状況を知って情報を共有してはいかがでしょうか。



特殊詐欺にだまされるものか!

高齢者を狙う振り込め詐欺や、最近では新しい手口の悪徳商法で高額なお金をだまし取られる詐欺が一向に減らず、連日報道されています。昨年好評につき今回も、長野中央警察署 生活安全課 田山文子係長に10月28日(火)に中御所公民館にお越し頂き、地域住民約30人でまさかの目に遭わないためにアドバイスをいただきました。

中央警察署管内では被害が前年を上回っており、昨年県内で被害に遭われた方にアンケートをとったところ、80%の方が「私は大丈夫」だと思っていたそうです。自分は大丈夫だという気持ちは捨ててください。いつ狙われるかもしれないという気持ちでいてください。今年の中央警察署管内では、オレオレ詐欺は僅か1件で、代わってパンフレットでの「高く買い取る」「名義貸して」「代わりに買って」などが非常に増えているそうです。中央警察署の管轄区域は、長野市北部、小川村、信濃町、飯綱町ですが、被害に遭っているのは長野市だけ、まちに住んでいる人が狙われているそうです。こうした詐欺に遭わないためには、「レターパックで送って」「宅急便で送って」などと言われたら、これは詐欺の手口だと考え、対応しないことです。詐欺の手口は全て電話からはじまります。断る理由のキーワードを電話機の側に貼ってはっきりと断りましょう。儲かる話はこの世の中にはありません。

次に、被害に遭ったDVDを鑑賞し、長水防犯協会の玉木さんとエンジェルスの人形による、特殊詐欺でお金をだまし取られる寸前に諭されて被害を防げたケースの人形劇を鑑賞しました。

詐欺に遭わないために、犯人からの電話を断る練習、相談相手を確認し、家族とのコミュニケーションをしっかりととりましょう。相談・通報は長野中央警察署 ☎026-244-0110 または、お近くの交番まで。



各町からのお知らせ

中御所・岡田町
より

柳原神社秋季大祭

善光寺七社の一つで地域の崇拝を集めている氏神様の柳原神社では、9月20日（土）夜から21日（日）にかけて秋季大祭が賑やかに執り行われました。



20日、昼間は岡田町の子ども神輿が元気よく町内を練り歩きました。日が暮れて5頭の神楽が各町内の家庭で神楽舞を奉納し、岡田町の神輿は威勢よく町内を一巡し、夜9時半過ぎに柳原神社に宮入。境内は一段と華やかな雰囲気になり、儀式が執り行われました。

神楽5頭が宮入し、社殿で3頭、社殿前で2頭による見事に統一がとれた奉納舞が行われ、参拝客を魅了しました。

そして21日には、晴天に恵まれ穏やかな日差しが降り注ぐ中、午後2時から関係者が参列し、3人の宮司により一連の儀式が厳かに滞りなく執り行われました。

関澤正夫中御所堀組祭典委員長は「岡田町、九反組と堀組祭典委員のご協力により無事に終わることが出来感謝申し上げます」と語られました。



末広町
より

妻科神社例祭

末広町・南石堂町・北石堂町の氏神様である妻科神社の秋祭りが、10月1日（水）から2日（木）にかけて、加盟町16町で執り行われました。



妻科神社は、湯福神社、武井神社と善光寺三鎮守（善光寺三社）で、創始年月は明らかではありませんが、善光寺鎮座以前の水内神として諏訪大社の県内で最も古い分社のひとつです。御祭神は諏訪大社下社八坂刀売命を奉祀しています。そして、松代藩より社領2石の寄進があり、川北17カ村の総社として崇拝され現在に至っているそうです。

この四社持ち回りで寅年・甲年に御柱祭を行い、境内には御柱が立っており歴史を感じる社です。

末広町は4年振りにお神輿を出し、10月1日（水）は宵宮で夕方6時半にウエストプラザ前を約140人の担ぎ手に担がれ威勢よく出発し、途中南石堂町・北石堂町の会所に立ち寄り、妻科神社への奉納を目指して中央通りを北上して行きました。

2日（木）には、午後2時から拝殿に祭典役員・各町関係者が参集し、宮司により一連の神事が厳かに執り行われました。



事務局

第五地区の活動にご意見、ご提案がありましたら、各町の区長さんまたは、事務局にお問い合わせ下さい。

〒380-0833
長野市大字鶴賀権堂町2201番地20
権堂イーストプラザND 1階 第一から第五地区合同事務所

TEL 262-1512 (FAX共通)
メール dai5@feel.ocn.ne.jp